



恵田小新聞

令和3年
12月
第164号

学芸会

「がんばった学芸かい」

一年 すずき しょうだい

一年生は『じゅげむ』をしました。ぼくは、おしょうさんと子どものやくをしました。『かごめかごめ』をして、「はっすれえ。」というところが、たのしかったです。おかあさんがほめてくれて、うれしかったです。

「たぬきばやし」

二年 おぼら ことね

わたしは、学芸会でたぬきのやくをやりました。れんしゅうでは、何回もやり直しをしてたいへんでした。本番はドキドキしたけれど、がんばりました。来年もがんばって上手にえんぎがしたいです。

「がんばった学芸会」

三年 佐々木 美玲

わたしは、学芸会でピーターパンのやくをしました。お客さんがたくさんできんちようしました。でもピーターパンになりきって、大きい声で言えたのでよかったです。来年もがんばりたいです。

「力を合わせた学芸会」

四年 大山 ひなた

今年の学芸会は『台所のかたすみから』をやりました。本番前は、とても心配でしたが、六年生や四年生の子たちが、「大丈夫。」と言ってくれたので、きつとできると思っていました。少し歌がずれてしまいましたが、せいっぱい演じることができたのでよかったです。

「学芸会」

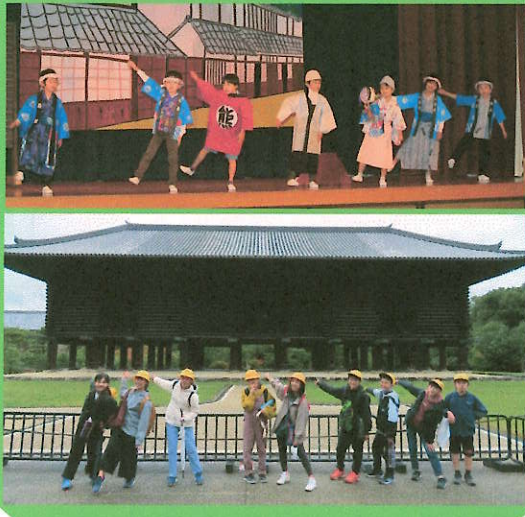
五年 中島 遙希

五年生は、『ココロ屋』という劇をやりました。ぼくは、本番で少しとまどってしまい、せりふがすらすらと出てこない場面もあったけれど、中里先生が「とても上手だったよ。」と言ってくれたので、うれしかったです。来年は最後の学芸会なので、さらに気合いを入れてがんばりたいです。

「みんなで作った学芸会」

六年 柴田 芽以子

私は劇でペリー役を演じました。面白く、分かりやすく演技するのが難しかったです。でも、みんなで練習中に声をかけ合ったり、家に帰ってからみんなと練習したりして、どんどん上達しました。本番では、みんなで作り上げた最高の劇を見ることができてよかったです。



「対照的な二人」

保護者 小原 祥悟・美香

「ヘーりんヘーりん!!」と毎日せりふの練習をし、覚えたら動作も付けて練習し、本番では二年生みんな上手で大成功でした。反対に私たちの前で一度も練習をしない息子。本人の「大丈夫まかせとけ」という言葉を信じ、いざ本番へ。ビックリするぐらい上手でゴキブリの世界が本当にあるかの様で、とてもおもしろかった四年生も大成功でした。鍵盤ハーモニカも上手で感動しました。

「素晴らしい学芸会」

保護者 加藤 千紗子

「明日は上手にせりふが言えますように。」と前日から緊張していた息子。学芸会当日は仲間と共に緊張を乗り越え演じる姿に成長を感じました。

どの学年も一人一人が生き生きと自分の役になりきり演じる姿、とても素晴らしいです。今年もハーモニカもあり恵田っ子の合唱、迫力ある合奏に感動しました。

修学旅行

「思い出の修学旅行」

六年 大山 実和

修学旅行での一番の思い出は、清水寺に行ったことです。紅葉がとてもきれいで感動しました。『今年の漢字』もみんなで応募して盛り上がりました。一番面白かったのは、奈良公園である人がシカに頭突きされたことです。小学校生活の最後に楽しい思い出ができてよかったです。

収穫感謝祭

「笑顔が咲く日」

五年 川畑 雄誠

ぼくは、収穫感謝祭で米作りの作業日記を発表しました。みんなに分かりやすいようにたくさん練習したので、全力を出し切れたと思います。その後食べたおもちも、自分たちが作った米だったから、いつもよりおいしい気がしました。はん売の時も笑顔がいっぱいあって、ぼくも笑顔になりました。

「収穫感謝祭」

保護者 小原 泉

今年もこの季節がやって来ました。子供達と一緒に恵田学区の収穫の恵みに感謝する日。前日から準備も当日も忙しかったので、子供達の様子は見れなかったけど、終わった後に沢山の子供達から、「おもしろかったよ。」と言ってもらえて心の中でニヤニヤしていました。今、世の中が大変な時ですが、地域の方やお手伝いの方、皆さんの協力、工夫があってこそその大成功だと思います。来年も楽しみます。

「最後の収穫感謝祭」

保護者 春日 稚子

上の子と十一才離れた末っ子も、六年生になり最後の収穫感謝祭となりました。

おいしいお餅や豚汁、こんにやくやキウイの販売など、多くの事を学び、成長した子供達の姿や学区の皆さんの笑顔が見られて温かな一日となりました。携わって下さった皆さん、本当にありがとうございました。



マラソン大会

「全力マラソン大会」

三年 中根 大晴

ぼくは、マラソン大会で全力で走ることができてうれしかったです。その理由は、みんなが「がんばれ。」とおうえんしてくれたことと、手を「むてきちよき」の形にすることで、体によい力が伝わったからだと思います。来年はきんちようしないために、ジャンプすることと、いきを鼻ですうことを守って全力で走ります。

「あと一步...」

保護者 朝井 未来

雨で延期となり、まだ練習ができる！とやる気満々。目指すは新記録。しかしあと一步及ばず。悔しいと思う事は大事。帰ってきて悔し涙。弟は三位になれず悔し涙。でも、自己ベストは出たと。自信を持って、これからもへこたれず何事も頑張るように！

姉さん最後のマラソン大会なのに終始笑顔。真剣に走れ！と思いつながら、姉さんらしく、苦手なことを最後までやりきったなど微笑ましく思いました。お疲れ様！！

落ち葉スキー

「落ち葉スキーの目ひよう」

四年 小原 春太郎

去年の落ち葉スキーで、ぼくはがんばって五段を五・八秒で合格しました。五段を合格したけど、もっと速くすべりたいと思っています。だから、今年が目ひようは五・八秒より〇・四秒速い、五・四秒ですべりきる事です。たくさん練習して目ひようを達成したいです。

「落ち葉スキー開場式」

保護者 二村 愛

「今年で最後の落ち葉スキー。いいタイムで終われるように頑張りたい。」稜也の滑る前の意気込みを聞き、少し寂しい気持ちになりました。そして、たくさんの方々を支えられた六年間、笑顔で楽しく寒さにも負けず、気持ちよく滑ることができていることに感謝です。この特別な環境で過ごせることを当たり前のことだと思わず、ありがとうの気持ちを忘れず新記録目指してがんばれ！恵田っ子！

